

DOJIN
R18
成人向け
18歳未満の
購入・閲覧禁止

Pee Girls IZM 02

「おしこ」
ジャンル合同誌

表紙イラスト

つつ

-参加者-(敬称略)

つつ

夜歌

るし(御乱ノ栖本佐)

みさな

お子様ランチ

:西野沢かおり介

:ひらやん

小林おかし

:小林ゆーり

:きよみん

有栖かずみ

牛鬼





Pee

→尿、おしっこ

Girls

→女の子たち

IZM

→主義、美学

02

→2巻、酸素

参加作家

P5～6 つつつ

P7～10 るし

P11～14 夜歌

P15～18 牛鬼

P19～22 みさな

P23 有栖かずみ

P24 お子様ランチ(ひらやん)

P25 お子様ランチ(西野沢かおり介)

P26～30 小林おかし

前書き・ご挨拶

後書きスペースが非常に少ないのでこちらでご挨拶を
当合同誌を主催させて頂いた牛鬼と申します
昨年発行いたしましたPeeGirlsIZMですが
有難いことにご好評をいただき
此度続刊を発行できる運びとなりました
この場を借りてお礼を申し上げます
今回もご参加いただいた作家さん方皆様それぞれの
フェチズムがあふれる本になったと思うので
是非お楽しみいただければ幸いです

帰り道

おしっこ
漏れそう…
やばい…

もぞっ…

描いた人『つつ』



愚かなるモノを
滅びの業火で焼き尽くし
苦痛と絶望を与えよ

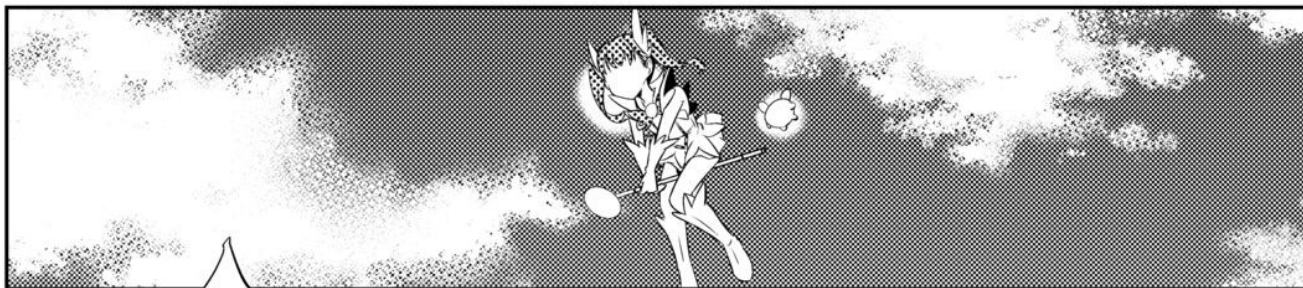
ツアーリ・ボンバ
ジェノサイド！

描いた人：るし

ありがとー

またね！
デスラブリー
ジェノサイド！

ありがとー



ん...ッ

ちゅ

わっ

き...来た

ひ



たっ たっ

も...
もっ

説明しよう！

ま…
待って…

ま…まだ
出ちゃ…ッ

魔法少女は体内に流れる魔力を
使い魔法を発動させるんだシヨ
ン
するとその魔力の老廃物
おしっことして体外に
排出されるんだペー！

そしてその雫は
地上に降り注ぐと
あらゆるものを浄化し

大地が生命で満ち
溢れるとかなんとか
ウンタラカンタラ
……



いや……
魔法少女って
大変だションねえ

いいから早く
拭くもの！

てか契約の時ソコ
濁した言い方してたでしょ









我慢しなくても
ほいんですよ？
ほらっしゅ♡しゅ♡

バカっ…
それやめて…っ！

あつ！
だめっ！！

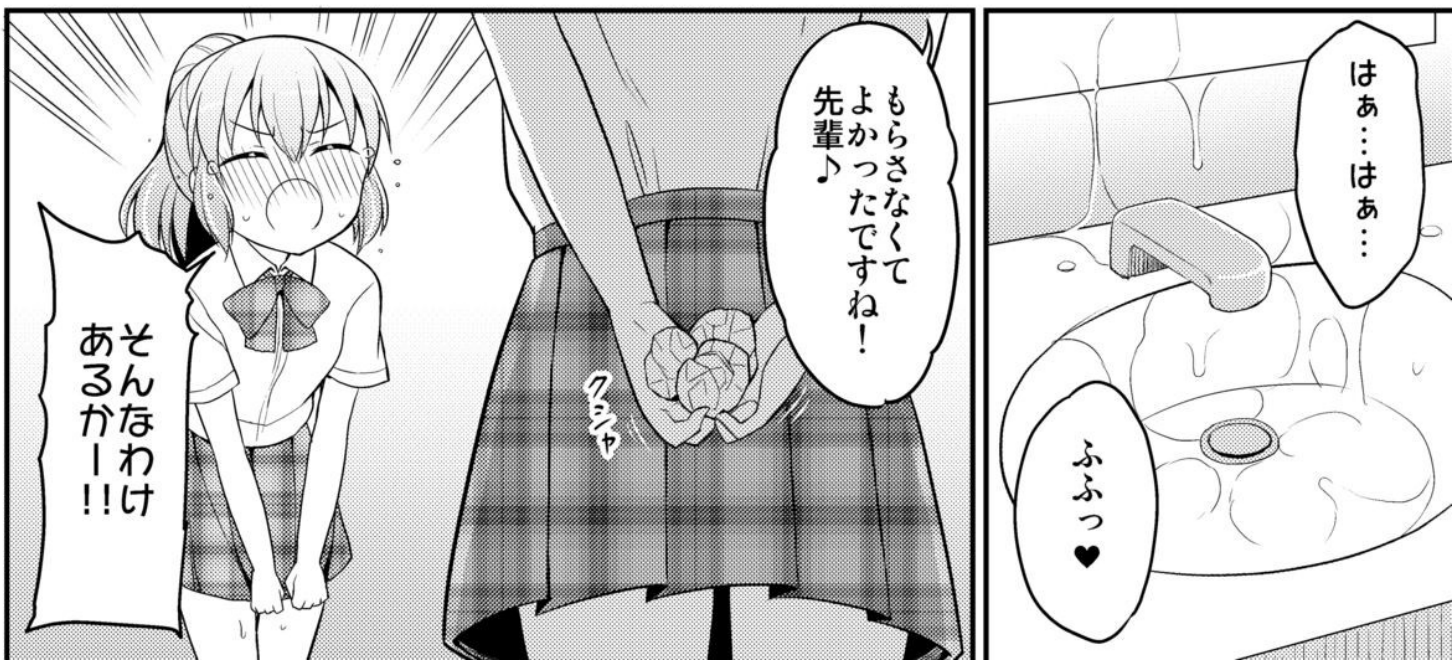
でぢやうっっ！！



あつ！
あああっっ！！

すごい…っ♡
先輩いつぱい
我慢してたんですね♡

やだっ！
見ないで…っ！！



はあ…はあ…

ふふっ♡

もらさなくて
よかったですね！
先輩♪

そんなわけ
あるかー！！

宿直室
(教職員専用)

作：牛鬼

水泳の補修よく
頑張りましたね、
最後はけっこう
泳げてましたよ！

すこし冷えたし
シャワー浴びて
いきましよう

2人一緒だと
さすがに少し
狭いですが…

むぐ！ななんで
一緒に入むぐぐ…

夏休み中で
ここしかシャワー
使えないので♪

もっ
にゅ♡

ぷはっ

ああのっ！

はっ
はっ

ちよっとおし…
お手洗いに行き
たいんですけど！

おしっこなら
ここでもしちゃっても
いいのでは？

なっ！先生に
見られながら
出来るわけ…



別に気に
しないのに
あ!

じゃ先生も
一緒にしま
しょうか!

なにが!?
なにが「じゃ」
なんですか!?



じゃあまず
先生から...

飛び散らない
ようにっ...

見

く

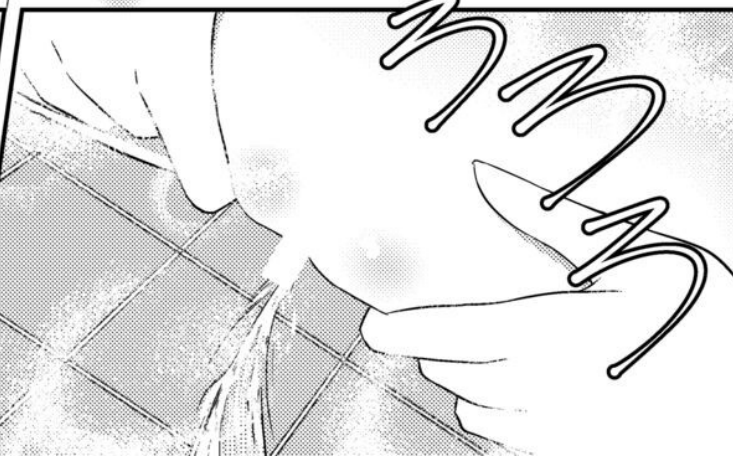
ぱあっ♡

しょうろ

うろろ



ふう……





してるって…
先生に見られる
のは…だけど…



もう無理—



は、他人がおしっこ
してるのって初めて
見た…ってやばっ！

気抜いたせいで
もう漏れそ…
ちよっと漏れて…

ちよろろろろろ



あつ…ああ…
先生と並んで…
こんな…♡

はー♡ はあー♡

一緒に…裸で♡
お…♡おしっこ…♡
しちゃって…♡

ろろろろ♡



恥ずっ…♡
すぎて…♡
なんか…♡
来る♡♡♡

じゅぽっ
じゅぽっ
じゅぽっ

じゅぽっ
じゅぽっ
じゅぽっ

おしっこ…♡
私と先生の…♡
混ぜて…♡



あっぽっ
あっぽっ
あっぽっ

んっ♡

んっ♡
あっぽっ
あっぽっ
あっぽっ

じゅぽっ♡

じゅぽっ♡
じゅぽっ♡
じゅぽっ♡

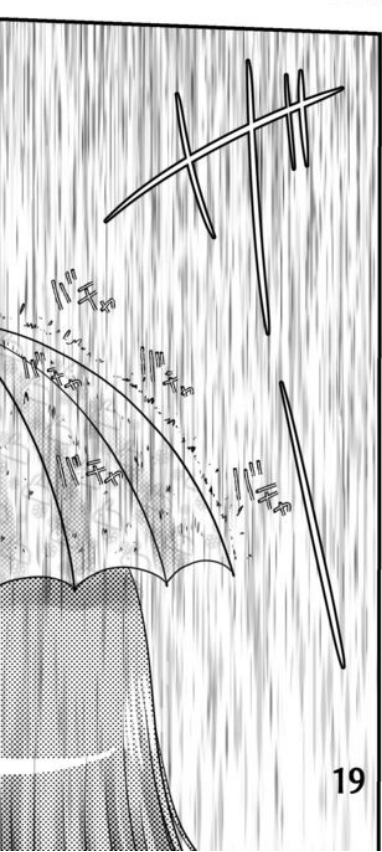
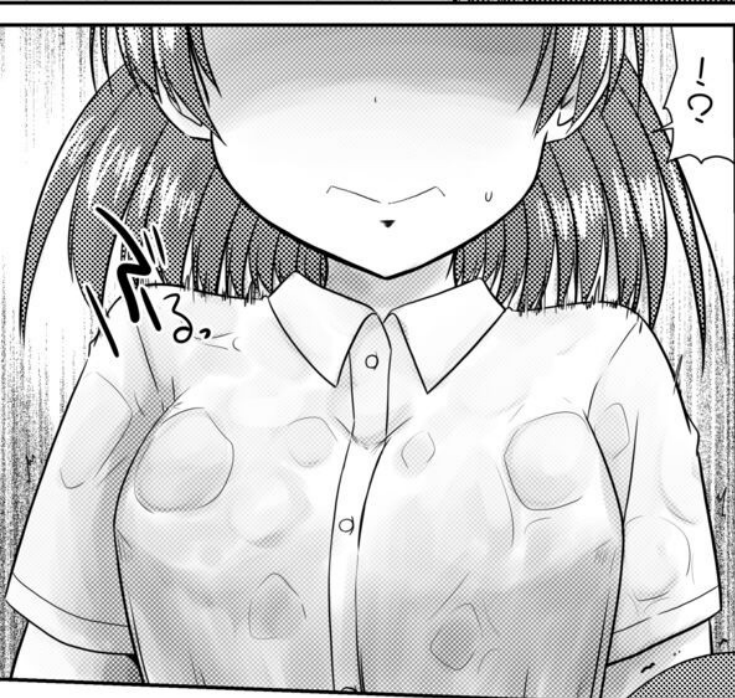
ろっろっろっ



夢月ちゃん？

はー♡
でたでた
スッキリ♡

むつき
夢月ちゃんも
もう大丈夫
ですかね？





そうなんだよー
もおおおっ！



明乃ちゃん...もしかして...
寒いのかな？

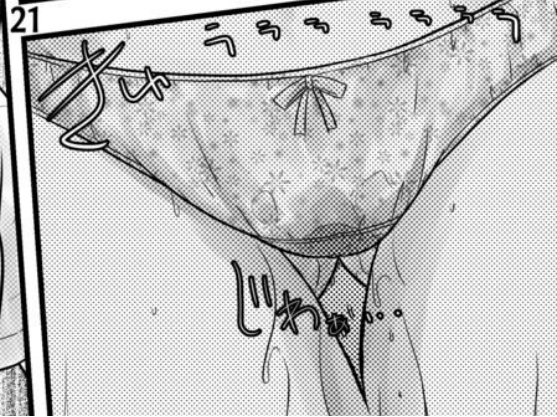


まかせろ!!

えん!!?



いいいいや...!
ととととらうわけじゃ!



「ねえねえ、あの人がっこよくない？」

「そ、そうだねっ……」

友達と海に遊びに来て、2時間ほど泳いだあと、尿意を催して海辺のトイレに行ったところ、長い行列ができていて、どう考えても列に並んでいる余裕が無いので、とりあえず浅瀬で待っててくれている友達のもとに戻ってきたものの、そこで限界が来てしまった女の子。

by 有栖かずみ







描いた人：
西野沢かおり

妖精のレイラがあたし、滝井 ひめの元にやってきたのはちよつと前のこと。

中学二年生にもなつて魔法少女になれると、小学生にもなつて思つていたあたしはレイラに魔法の力で手伝つて欲しいと言われたときは正直、ワクワクした。

なのに、蓋を開けてみればレイラの魔法であたしが恥ずかしい目ばかりあつている。

あたしが恥ずかしい思いをして、HP（恥ずかしポイント）を溜めれば元いた世界に帰られるらしいけど、恥ずかしいことが大の苦手なあたしにそんなこと、絶対におかしい。

いくら時間を戻して何事もなかったことにしても。

くく

何度目かわからない、気持ちの良すぎる朝。

レイラももうすっかりこの世界に馴染んでいる。姿は消しているけれど、一緒にテレビを見たり、お風呂に入った。

恥ずかしいことをさせようとしてるとき以外のレイラとは楽しくやれていて、ささやかな非日常感を味わうこともできている。

（あんな恥ずかしいことがなかったなあ……）

「恥ずかしいことしたいのですか。いいですよ、やりましょうか」

そうだった。レイラは私の心を読むことができることを忘れていた。

レイラはまた憎たらしい顔で私の周りを飛ぶ。

「では今日という日を楽しんでください。では」

と、あたしの『意味がわからないっ！』というツツコミをさしてもらえる暇なく、レイラはまたパツと消えてしまった。

「なんなのつもうっ！」

今日もまた、振り回されてしまうのだろうか。

くく

体育の時間は嫌いじゃない。制服より、体操服の方が楽に感じるから。

今日は短距離走のタイムを計るらしい、走るのは二人ずつ。今日の体育はイージーモードと言えた。

お尻に砂がつくことをあまり気にせず、グラウンドに直接体育座りをしていた。

（ほとんど順番待ちで終わりそうだよね……）

『どうでしょうかね』

レイラの声が心に直接聞こえてくる。

（うえっ……）

ババツと辺りを見渡すが姿は見えない。あたしに何かしようとしているはずなのに。

『——はいっ』

と小さくレイラの声が聞こえた。

「……っ！」

また服を破かれるかと思つて身構えたけれど、体操服に何も変化はなかった。

（何もない……？）

不思議がつて、きよろきよろ周りを見てみると、

『ふふ、スイツチオン』

レイラの不敵な声が聞こえてきた。

「……？ ん……？」

おへその辺りがじわじわした違和感。最近味わったことのあるイヤなヤツ。

（おしっこ……）

それも強い。いきなり黄色信号になって、身体にキケンだと警報を鳴らしてくる。

（まさか……レイラ……？）

ハーフパンツの上からおしっこが出るところをぎゅーっ押さえたくなるほど、強い尿意。

『ふふ……』

姿は見えないけれど、絶対あの悪い顔でニヤニヤしてい

るに違いない。そんな気がしない。

「次、滝井と——」

あたしの番がきてしまった。きっとレイラはそれを狙っていたのだろう。

「んふうっ」

立ち上がるだけでずきんずきんと痛みがくる。尿意信号は黄色が点滅して赤に変わりそうだった。

（えっちよっ……いきなり漏れそうになるなんて……これもレイラの仕業……？）

（おしっこ……漏れそうなんだけど……）

「いくぞー」

ふらふら、前を押さえたいたいのもガマンして位置につく。ぱあん、スタートの合図と同時に走り出した。が、

じゅんっ。

（おしっこ少し出た……っ！）

ぱんっにおしっこが染みこむ。出来たシミは百円玉くらい。

（いやあ……）

走るのが辛い。おしっこが身体の中で暴れている。

「滝井、十秒びったり、か。だいぶ遅くなったな、体調不良か？」

そうじゃない。じゅわっと出たおしっこが気になって、おしっこがしたくて、走ることなんて無理だ。

（みんなにおしっこ行きたいのバレてないかな……？ 恥ずかしいよ……）

身体が、もじもじそわそわ。せわしなく動いてしまう。

（レイラ……あたしをおもらしさせるつもりだ……。また、みんなの前であんな恥ずかしいことを……）

レイラの目的はわかった。

なら、今日はレイラに勝ってやる。そんな思いが生まれた。恥ずかしいことをガマンしてみせる。

『スイッチオフ』

とレイラが言う、あたしの尿意が急に収まっていく。

「……？」

てみる。

（漏れてない……？）

濡れたぱんつがじつとり張り付いて気持ち悪いだけ。

（おしっこがあれ……？）

『なかなかかわいなおしっこガマン姿でしたよ。ポイントもしつかり稼いでくれましたし』

HPなんてモノ、早く終わらせてほしい。

（ぱんつ汚しちゃったし……）

今日のぱんつはシンプルな白に水色の水玉。なんとなく、好きなぱんつで、おしっこで汚したことはかなりショック

が大きい。

（やっぱレイラの仕業だったんだ）

『ええ、もちろん』

（まさかとは思うけど……）

『そのまさか、です。今ひめさんにかかっているのは、おしっこが自在にコントロールされてしまう魔法です。かけているのは当然、私です』

なんてとんでもない魔法なのだろうか。

『一気に全開に持つてくることも可能です』

全開なんて怖すぎる。それはおもらしをさせることが可能ということなのだろうか。

（ちよっと……おもらしはもうトラウマだから……やめて……）

『……時間は戻せます。記憶もみんな消せます。それでもイヤ、ですか？』

そんなのイヤに決まっている。好きです、もっとやってください、と言う人はいないと思う。

『どうしましょうか……』

さすがのレイラも恥ずかしいことをさせるとはいえ、そこまでのことはしないだろう、とタカをくくった。

そして体育の授業が後五分、というところまでやってきた。先生の話タイムになって一カ所に集められ

そんなときにあの悪魔の妖精が目を見ました。

『——オン』

はつきりとあの声が聞こえた。

「……んぐっ」

きゅん、とおへその下の辺りが熱くなった。

（またおしっこ……っ！ つて、あっ……！）

尿信号が黄色スタートでもなく、いきなり赤信号からスタートした感じた。

「あっ……」

じゅわー、とまたぱんつにおしっこのシミの面積が増えていく。

「……ヒッ」

おしっこが太ももを伝って、脚を流れる。

その気持ち悪さに、つい声が出てしまった。

（ハーフパンツ大丈夫かな……靴下も……これくらいのシミなら別にバレないよね……）

一気に押し寄せたおしっこの波に、あたしの水門は耐えきれず、少し、少し、おしっこを漏らしてしまっていた。

じゅっ。じわあ。

（ダメだダメだダメだ……っ！）

このままだと、立ったままおもらししてしまうのは時間の問題だと脳から緊急指令が出まくっていた。

（トイレ行かないと……っ！）

先生に言いたいのになかなか言えない。

（あぁっ……また……）

じゅいじゅい、じゅう。

またおしっこがぱんつの中で暴れる。

吸収する能力が壊れてしまったぱんつをすぐに通過して、一列、二列とおしっこがまた太ももを流れて、靴下に吸われる。

『ここで漏らしてしまっているのですよ？ どうせ記憶は消えるのですから……』

悪魔の囁きがあたしの膀胱を刺激する。

じゅい……じゅわ……

おしっこはもう止めることはできそうにない。

ハーフパンツにももうおしっこは染みてきている。

おへその下が痛くてお股が熱くなっている。

（おもらしは絶対やだ！ いくらピッてみんなの記憶が消えても、あたしは消えないもんっ！）

あたしは心の中で叫んだ。これでもか、というほどに。

「先生、あたし……お手洗い、行つてきます」

これほど勇気を出したことはなかった。

（あぁ……言っちゃった……っ！ 恥ずかしいっ！ 死にそうっ！）

「ん？ ああ、いいぞ、行つてこい」

先生の言葉を最後まで聞いていなかった。いいぞ、と言われた瞬間にはもう、あたしの足はトイレへと向かっていた。

（あああああああっ！ みんな見てる！ あたしがおしっこ行くの見てるっ！）

恥ずかしさが爆発しそうになって、涙で視界が滲んだ。レイラのことなんてキレイさっぱり忘れてしまいうくらい。

（漏れるっ！ 漏れるうっ！）

ぎゅう、とハーフパンツの裾をしっかり右手で押さえながら、グラウンド端のトイレへと早歩きで向かう。

じゅわわわわっ。

もう多少の被害は仕方がない。

結果が『おもらし』じゃなかったらそれでいい。

なのに、もう間に合いそうにない、と赤色の危険信号が爆発しながら警告を出した。

（間に合わないっ！）

と思った瞬間、足がぴたり、と止まってしまった。

ちよろろろ。

しゅいっしゅういっしゅうい。

（あっ……ふう……おしっこ、出てる……っ！）

立ったまま、身体をねじりながら、おしっこが出ている。

ぱんつ、ハーフパンツはもう役目を果たせない。

脚を伝うおしっこの滝が乾いたグラウンドを静かに湿らせていく。



(また……おもらし……しちやつ……た……つ)
しゅい、しゅい、とおしつこの終わりを感じている。
(あ……おしつこ……気持ちよかったあ……)

頭がトロトロになって全身をおしつこで溶かされていく
ような、そんな心地よさ。

「……？」

ぶるり、おしつこが終わった。

意識だけ別の世界に飛ばされたような、そんな気持ち。

『ひめさん、ひめさん』

まだ頭がボーンとしていた。

かすかに聞こえてきたレイラの声でちよつとずつ世界が

元に戻っていく。

『周り、見てください』

「……ふえ？」

きよろきよろ、周りを見て、一カ所、気がついたことが

あった。

ざわざわ。人だかりがこつちを見ていた。

あたしが気がついた。

(みんなが……あたしのおもらしを……見てた……？)

「……っ！」

足元も水たまり。濡れた靴下と靴と体操服。

「みつ見ない……で……見ないでええっええっ！」

あたしは叫んで、しやがみこんで、泣いた。

〃

「というワケですね」

見慣れた天井と人より多く見たと思う、気持ちのよすぎ
る朝とレイラの声。

「……また戻ったんだ」

もう慣れた。二度目の今日の朝。

「今回は大きかったですね。やっぱり、おもらしはHPも
大きいみたいです。作戦成功です」

目の前を蝶のようにヒラヒラ飛ぶレイラを両手で捕まえた。

「レイラーっ！」

レイラを掴んでぶんぶん振り回してベッドに向かって投
げた。

「ぬぬぬぬ……」

おかしな声を出しながら、レイラは高速回転しながらベ
ッドへと叩きつけられた。

「死ぬかと思いました」

「もう恥ずかしかった……あたしの方が死ぬかと思ったも
んっ！」

ベッドに転がっているレイラをもう一回掴んで上下に振
りまくった。

「あびびびび……っ」

また変な声を出ながらおかしな顔になっているレイラ。
そのまぬけ姿は、普段の小憎らしい口ぶりとは真逆で、
笑いそうになってしまった。

「もうヤダあつ！ こんな生活うー！」

かなり恥ずかしくて、ほんの少しだけ面白いあたしの非
日常はまだ続きそうだ。



つつ

表紙と漫画2ページを描かせて頂きました、
つつと申します。
表紙は放尿だったので漫画では
お漏らしシーンを…
楽しい合同誌にお誘いいただき
ありがとうございました！
teitter: @tsuxx3
Pixiv: id=3484378
HP: <http://blog.livedoor.jp/tsux3/>

るし

ココの所、「明日地球が減ぶなら最後にする
おしっこは何か」を考えすぎて一日7時間位
しか寝れない日が続いています…。
twitter: @rush1107
Pixiv: id=2324395
HP: http://blog.livedoor.jp/abyss_gate777/



夜歌

主催の牛鬼さんに続き描いてと言われて
描きました。
まだネタはあるので合同誌が続く限り
描こうかと思います。
twitter: @asatsukido
Pixiv: id=18669
<http://blog.asatsukido.net/>

みさな

雨はいい…すべてを洗い流してくれる…っ
たとえ何か出てしまっても雨はすべてを
無効化してくれるのです…っ
雨はいい…っ(じよぱあっ
twitter: @sayamiya337
Pixiv: id=5354





有栖かずみ

合同誌に参加できて嬉しいです！
夏といえば海！ってことで、夏の海での一コマを描いてみましたが、いかがでしたでしょうか。
(ちなみに令和になって初めて描いた絵がこれでしたw)
twitter: @arisu_kazumi_
Pixiv: id=206855
HP: <http://a-kazumi.com>

ひらやん(お子様ランチ)

前回の差分というか、スク水ver. にてお目汚し失礼しました。
元はGIFアニメだったりします。
どこかで動いてるかも。



西野沢かおり介(お子様ランチ)

またイラストでの参加になってしまいました。
次号があったら、もう少しストーリー性のあるおしっこが描きたい！
ちなみにキャラは姪っ子シリーズのなずなちゃんです。

小林おかし

PeeGirlsIZM 2 にお誘い頂きありがとうございます！
今回は小説メインの形でした！
普段は漫画等もやっていますのでそちらもよろしくお願いします！13
twitter: @kobayasiokasi
Pixiv: id=19771117





発行日：2019/8/11(日) C96
印刷：大陽出版株式会社様
発行：牛鬼(うしおに)
サークル：XXX's Sign(ピースサイン)
代表連絡先：以下
Twitter:@usi_oni
Pixiv:id=281101

此度はお手に取っていただき
有難うございました！
去年に引き続き多くの作家さんのご協力で
また合同誌を発行出来ました。
今後もこの合同に関しては体力の続く限り
毎年夏にお届けできればと思います。
当合同誌に参加されてる作家さんと百合系
のおしっこ本も出そうと相談してたりする
ので、ご興味あればそちらも何卒
改めてお読みいただいた皆様と参加作家の
皆様に心より御礼申し上げます。
誠にありがとうございました！

主催 牛鬼

34



Pee
Girls
IZM

presented by "XXX's Sign"